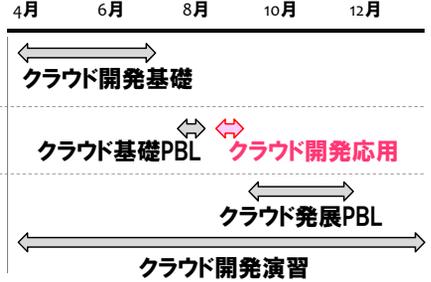


CloudSpiralの取り組み

クラウド開発応用（後期合宿）を終えて

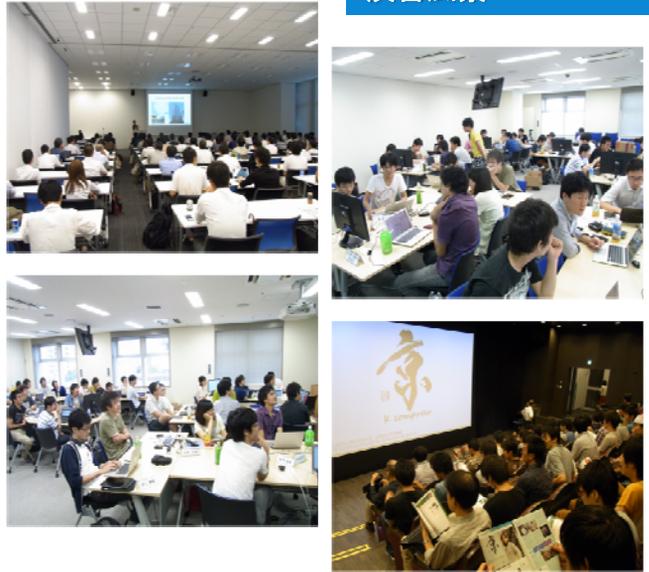
全体カリキュラム



実施スケジュール各講義の位置づけ

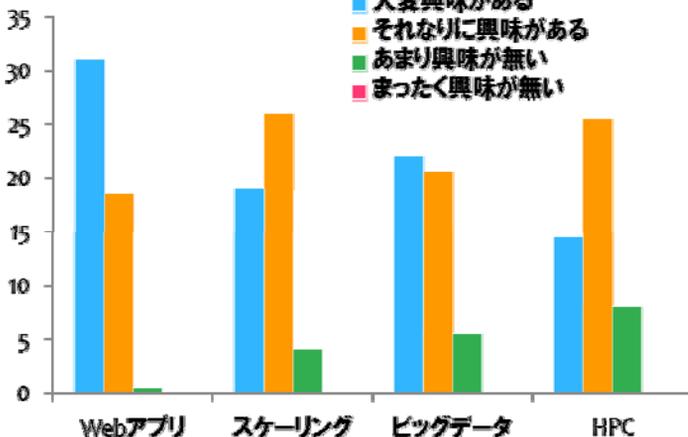
- 9/2 **クラウドのこころ・公開セミナー**
 - ・クラウドの定義/基礎
 - ・一般参加型の公開セミナー
 - amazon.com, 日本マイクロソフト, NTT西日本, ヤフー株式会社, 日本総合研究所
- 9/3 **Webアプリ・クライアントサイド開発**
 - ・HTML5/CSS3/デザインの基礎
 - ・サービス開発者の立場
 - ・「Broad Network Access」「SaaS」
- 9/4 **スケーリング・負荷分散**
 - ・仮想化技術/ロードバランシング技術
 - ・サービス運用・管理者の立場
 - ・「Rapid Elasticity」「IaaS」
- 9/5 **ビッグデータ処理**
 - ・Hadoop/MapReduce
 - ・データアナリストの立場
 - ・「PaaS」
- 9/6 **ハイパフォーマンスコンピューティング**
 - ・コンピュータサイエンスの観点からクラウドを再考する
 - ・スパコン「京」の見学
 - ・研究者の立場

演習風景



反省点と次年度の改善策

学生の興味度合い



- 各学生の専門や背景が異なるため、講義の進捗・難易度の決定が困難
⇒ 合宿という形態を活かし、夜に補習などの形でフォローを実施すべき
- 座学と演習は個々人での作業が多く、グループワークの利点を活かしにくい
⇒ 座学とグループワークの融合を考える必要がある
ただし全員に一律の知識を修得させる工夫も必要
- 集中講義的な形態であり宿泊を行う意義が薄い
⇒ 集団生活的要素を強め、共同生活・共同作業などの社会的人間性を向上させる。さらに受講生同士の相互研鑽をねらう